様式第九の指定一第二表を次のように改める。

指定－第２表　エネルギー管理指定工場等のエネルギーの使用量及び販売した副生エネルギーの量

エネルギーの種類			単位	年度					
				使用量		販売した副生エネルギーの量		購入した未利用熱の量	
				数値	熱量GJ	数値	熱量GJ	数値	熱量GJ
燃料及び熱	原油（コンデンセートを除く。）		kl						
	原油のうちコンデンセート（NGL）		kl						
	揮発油		kl						
	ナフサ		kl						
	灯油		kl						
	軽油		kl						
	Ａ重油		kl						
	Ｂ・Ｃ重油		kl						
	石油アスファルト		t						
	石油コークス		t						
	石油ガス	液化石油ガス（ＬＰＧ）	t						
		石油系炭化水素ガス	千m³						
	可燃性天然ガス	液化天然ガス（ＬＮＧ）	t						
		その他可燃性天然ガス	千m³						
	石炭	原料炭	t						
		一般炭	t						
		無煙炭	t						
	石炭コークス		t						
	コールタール		t						
	コークス炉ガス		千m³						
	高炉ガス		千m³						
	転炉ガス		千m³						
	その他の燃料	都市ガス	千m³						
		（　　）							
	産業用蒸気		GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ						
	温水		GJ						
	冷水		GJ						
	小計		GJ						
電気	電気事業者	昼間買電	千 kWh						
		夏期・冬期における電気需要平準化時間帯	千 kWh	（　　）	(ｈ　　)				
		夜間買電	千 kWh						
	その他	上記以外の買電	千 kWh						
		自家発電	千 kWh						
	小計		千 kWh						
合　計GJ									
原油換算 kl					ⓐ		ⓑ		ⓑ’
前年度原油換算 kl									
対前年度比（%）									

備考　「夏期・冬期における電気需要平準化時間帯」については、昼間買電の内数であるため「(　)」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないこと。

様式第九の指定一第五表中「一ⓑ」を「一ⓑ―ⓑ’」に改め、様式第九の備考中32を33とし、20から31までを一つずつ繰り下げ、同備考19(1)ア．中(キ)を(ク)とし、(カ)を(キ)とし、(オ)を(カ)とし、同ア．(エ)中「Ⓑ」を「Ⓑ―Ⓑ’」に改め、同(エ)を同(オ)とし、同(ウ)の次に次のように加える。

(エ)購入した未利用熱の量の合計（原油換算kl）　・・・Ⓑ’

様式第九の備考19(2)ア．中(コ)を(サ)とし、(オ)から(ケ)までを(カ)から(コ)までとし、同ア．(エ)中「Ⓑ」を「Ⓑ―Ⓑ’」に改め、同(エ)を同(オ)とし、同(ウ)の次に次のように加える。

(エ)購入した未利用熱の量の合計（原油換算kl）　・・・Ⓑ’

様式第九の備考中19を20とし、同備考18(3)ア．中(カ)を(キ)とし、(オ)を(カ)とし、(エ)を(オ)とし、同ア．(ウ)中「Ⓑ」を「Ⓑ―Ⓑ’」に改め、同(ウ)を同(エ)とし、同(イ)の次に次のように加える。

(ウ)購入した未利用熱の量の合計（原油換算kl）　・・・Ⓑ’

様式第九の備考18(4)ア．中(ケ)を(コ)とし、(エ)から(ク)までを(オ)から(ケ)までとし、同ア．(ウ)中「Ⓑ」を「Ⓑ―Ⓑ’」に改め、同(ウ)を同(エ)とし、同(イ)の次に次のように加える。

(ウ)購入した未利用熱の量の合計（原油換算kl）　・・・Ⓑ’

様式第九の備考中18を19とし、９から17までを一つずつ繰り下げ、８の次に次のように加える。

９　特定一第２表及び指定一第２表の購入した未利用熱の量の欄には、熱の種類ごとに購入した未利用エネルギーを記入すること。